

平成 22 年度 滋賀県がん診療連携協議会

第 3 回がん登録推進部会 議事概要

日時：平成 23 年(2011 年) 3 月 30 日(水) 16:00～17:20

場所：滋賀県立成人病センター新館 11 階会議室

出席者：目片 英治、太田 悦子(滋賀医科大学医学部附属病院)

土井 隆一郎、森 明子(大津赤十字病院)

浅田 佳邦、寺村 清一郎(公立甲賀病院)

寺村 康史、松田 弘子(彦根市立病院)

堀江 智美(代理)(市立長浜病院)

川上 賢三、田中 一史(成人病センター)

欠席者：東出 俊一(市立長浜病院)

加賀爪 雅江(健康推進課健康づくり支援室)

<敬称略>

討議内容

(1) がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2008 年診断分全国集計について

- 2008 年診断分全国集計データ公開に際して、各病院に募集されたコメントについて

大津日赤：全国平均と同等

市立長浜：不明

公立甲賀：コメントなし

成人病：コメントなし

2008 年診断分全国集計の滋賀県データには、滋賀医大、彦根市民は含まれていない

- 各施設にフィードバックされたデータについて(各施設から紙出力して持参し、参照)
  - ・公立甲賀病院のデータは病期不明の数が多い。診療録に記載がないのか、実務者が主治医に聞きにくいのか、院内で調整したほうが良い。

(2) 2009 年診断分腫瘍データ収集について

提出前データ収集結果概要(各施設データを一本にまとめ、全員が確認した)

- ・各施設でデータ精度の差がある。
- ・実務上留意すべき点について、以下のとおりまとめた。
  1. UICC の臨床分類(cTNM)および病理学的分類(pTNM)は UICC に登録されている部位全てに適用されます。手術をしている症例においても、病理学的分類(pTNM)だけではなく臨床分類(cTNM)が必要です。進展度も同様です。
  2. 「組織診断名コード」および「組織診断名テキスト」は必須項目です。悪性新生物(がん)の診断が確定していて組織型が不明のときは、「組織診断名コード」は「8000/39」、「組織診断名テキスト」は「新生物、悪性、NOS」とします。
  3. UICC 第 6 版の胃がんの病期では「0 期」はあり得ません。胃がんにおける壁進達度「m」は「T 1」に該当します。
  4. 上皮内がんの場合、ICD-O-3 の形態コードの性状コード(5 桁目)は「2」ですが、この場合異型度・分化度を表すコード(6 桁目)は「9」になります。病理所見に分化度の標記があっても、6 桁目は「9」とします。
  5. がん登録の対象となるのは、上皮内がんを含む悪性新生物です。したがって性状コード(5 桁目)が「2」または「3」のものと言うことになります。
  6. 頭蓋内腫瘍などにおいては性状コード(5 桁目)が「0」や「1」のものを対象する場合がありますが、その他の部位では「0」「1」「2」は対象外です。
  7. 肺がんの病期分類で「N3」の場合には、進展度は「遠隔転移」となります。
  8. 肝細胞癌は、組織学的所見がない場合でも、形態コードの組織型コードは「8170/39」とします。

9. 部位によって違いはありますが、一般的にステージが「Ⅰ」または「Ⅱ」で外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療のいずれかが「1あり」場合、外科的治療の結果は「1 治癒切除」となります。診療録の記載から判読不明のときは必ず臨床医に確認が必要です。
10. 腫瘍がふたつ以上の部位にまたがっているときは、局在コードの4桁目を「.8」としますが、これは原発部位が明示できないときに使います。がんが広がっていても原発部位がはっきりしているときは、その局在コードを選びます。

#### 実務者によるデータ検証について

データ提出直前になったが、1月25日に成人病センターにデータを持ち寄り、相互チェックを行なった。(一部病院はメールと電話で対応)  
HosCanRの利用や、エラーチェックツールだけで精度が担保されるものではないことを参加者全員が実感した。  
がん登録のルールを理解すると共に、医療における一般的な常識を理解することが大切である。

#### 提出データの収集について

各施設は、データを修正したうえで提出したことを確認した。  
提出データを再度収集する。(事務局より各施設実務者に後日連絡)

### (3) 国立がん研究センター院内がん登録実務研修について

がん登録実務研修については、県ごとの受講人数制限もないので、拠点病院協議会の研修部会で検討する必要はない。  
各研修に関する状況は以下のとおり。

#### 初級者研修

拠点病院指定要件：各拠点病院に一名以上  
来年度の初級者研修申込みは、年一回になり、締切りは4月6日。  
22年度は初級者研修受講者の半数以上が「実務に携わっていない」「携わる予定がない」という状況だったことから、22年度までの「全国7会場2コース」を見直し、23年度は「全国4会場 コースのみ」に変更になった。

#### 中級者研修

拠点病院指定要件：各拠点病院に一名いることが望ましい  
施設長の推薦必要。受講前後の試験あり。

#### 指導者研修

各都道府県に一名以上いることが望ましい  
都道府県の推薦必要。

### (4) その他

#### NCDについて

外科・心臓外科・呼吸器外科が中心で、がん以外も登録対象  
各施設の登録実務担当の状況  
彦根市民：医局秘書が電子カルテを参照しながら登録  
大津日赤：未定  
滋賀医大：医局秘書が担当  
公立甲賀：未定  
市立長浜：未定  
成人病：診療情報管理士(2名)が実務者登録申請中

以上